

振り返り：2023年

2023年の経験をどのようにまとめるべきか？それは成功だったのか、それともそうではなかったのか？どのようにそれを測るべきか？そして、それについてどう感じているのか？それは長い物語です。

2022年11月頃、大手銀行をクライアントとする2社からオファーをもらいました。彼らは私を獲得しようと競い合いました。1社は月給約27,000元、もう1社は32,000元を提示しました。私は後者を選びました。前職の月給は約22,000元でしたので、約50%の昇給となりました。今年の初めはとても良い気分でした。

2017年にはすでに月給25kを得ていましたが、それと比べてあまり増えていません。もう5年が経ち、私は成長しました。以前の中国のスタートアップでの仕事や自分のスタートアップ企業のビジネスと比較すると、今の私の時間あたりの報酬は過去最高です。私の頭脳はこれまで以上に鋭くなっています。

そして、3年間のCOVID期間のため、私はほとんど旅行に行きませんでした。そのため、郷里のXinningから戻ってきた後、DJIドローンを使っていくつかの場所を訪れ、風景を撮影し始めました。広州タワーに行き、短い動画を作成しました。

その短い動画の興味深い点は、ある時点で動画の背景音楽のリズムが川沿いのライトと同期していることです。その瞬間、リズムが変わり、ライトが点灯から消灯に変わります。

それから約1ヶ月間、毎週末外出し、主に中国の広東省周辺を巡りました。珠海、東莞、マカオ、北海、肇慶、清遠。そして、DJIドローンを使って空撮の練習をしました。

最も緊張した瞬間は、マカオにいた時のことです。湖の近くで撮影をしていた時、ドローンを陸地の上から湖の上へとリモート操作で飛ばしました。突然、ドローンと水面の距離が変わってしまい、何か問題が発生してドローンが降下し始めるかもしれない状況になりました。私は緊張し、まだ壁の近くにいたので手で掴もうとしましたが、うまくいきませんでした。しかし、壁にはいくつかのケーブルがあり、それらがドローンをキャッチしてくれました。そこで、私は手でドローンを掴み戻しました。なんというスリルだったことでしょう！

私が携わった仕事は、決済アプリに関するものでした。Java、Spring、Spring Cloud、Azureを使用してバックエンド開発を支援し、AWSプラットフォーム上でも少し作業を行いました。

この旅で多くのことを学びました。いくつかの技術的な教訓について説明させてください。

- ・ソフトウェアアーキテクチャは非常に重要です。長期的な視点でコードをどのように構造化するかを考えるべきです。開発とデプロイの方法を考えることが、決定を助けます。
- ・Azure EventHubのKafkaプロパティ設定は重要です。間違えると、マイクロサービスがスケールアップする際にメッセージが失われる可能性があります。

- ・時には、IDEA の build.log を確認してバグを修正することができます。
- ・コードの各行が重要です。新しいコードの場所に直接ジャンプして確認し、疑うことができます。例えば、なぜここでログが出力されないのか、といったことを確認できます。
- ・私たちはできるだけ早く正しいことをするべきです。もし何かが間違っている場合、その問題は常に存在し、私たちにトラブルを引き起こし続けます。
- ・正しいことを行うのは難しい。私たちは多くの方法を試し、現実が何が最善かを教えてくれるのを待つべきです。十分に長く留まることでしか、貴重な教訓を得ることはできません。したがって、自分の決定について記録を残し、しばらくしてからそれらを振り返ることが重要です。コードについても同じことが言えます。
- ・技術的なメモや貴重な教訓は、タイムリーに正確に書き留めるべきです。時間が経つと、何が起こったのか正確に忘れてしまうかもしれません。
- ・SSH トンネリングを 3 回行うのは時々理解しにくいことがあります。詳細モードを使って慎重に確認しましょう。
- ・人生は点と点をつなぐことです。デバッグやコーディングも、メッセージをつなぐことです。バックエンドコードのバグを修正するために、フロントエンドコードもチェックすることができます。2013 年から 2015 年までの Android と iOS 開発への取り組みは、時間の無駄ではなかったと思います。今は主にバックエンド開発者として働いていますが。

この時期、ChatGPT が話題になっていました。私は「ニューラルネットワークと深層学習」という本を読み始めました。6 月頃には、おそらく半分ほど読み進めていました。その頃には、少しずつ理解が深まってきたと感じました。そこで、ニューラルネットワークをゼロから実装してみることにしました。最初は進みがとても遅かったです。MNIST のデータを読み込むためのコードが 50 行ほどありました。pickle 関数を使ってデータを読み込み、それを訓練データと検証データに分けます。そして、データの形状を (784, 1) のように整えます。

こんな単純なコードでも、5 回も再実装してようやく理解できました。そして、ニューラルネットワークの部分を実装しようと試みています。

ニューラルネットワークの部分に関しては、バックプロパゲーション関数とミニバッチ更新について、詳細を完全に理解するのが難しいと感じました。そこで、私が理解していることを書き出して、詳細を把握しようと試みました。

7 月、何らかの理由で現在の仕事を辞めました。これから数年間に何をすべきかを知るために、いくつかの記事を書きました。その後、深層学習用のコンピュータを組み立てました。それは、2022 年にエンジンオイルを抜いて新しいオイルを補充して車のメンテナンスをしたことを

思い出させました。また、音楽の音量に応じて LED が光るように回路を接続したことも思い出しました。

エゴは成長の敵です。仕事を辞めた後、自分はその仕事でうまくやっていたと思っていたましたが、フィードバックは「仕事をこなすのに問題ない」というものでした。当時はその意味を受け入れることができませんでした。半年経って初めて、その言葉の真意を理解できるようになりました。

広州からラサ・チベットへの旅の途中、景色はとても素晴らしかったです。この旅の間に多くのアイデアが浮かびました。その一つは、音声 AI を搭載した IDE を作る必要があるかもしれないということです。運転中にコードを書けるようなものです。

ドローンを使って美しい景色を撮影するのは、ちょっと面倒な作業です。時間がかかるし、一度の撮影に約 30 分も費やしてしまいます。でも、とても美しい景色に出会うことが多く、その瞬間を空から動画に収めて友達と共有したくなるんです。

旅の途中、何日か経つと少し退屈していました。以前にも長距離のロードトリップを経験していたからです。そこで、新しいアイデアを思いつきました。女性になって新しい経験を積みたいと思ったのです。この考えは私をとても興奮させました。それで、昆明という大きな街に着いたとき、女性用の服をいくつか買い、女性らしく見えるように新しいメガネも購入しました。

そこで私は女性のような格好をしました。エレベーターの中で、ネイルの話をしている高校生らしき二人の女の子に出会いました。ドアが開くと、私もそれをやりたいと言いました。彼女たちが降りると、一人の女の子が私を振り返り、驚いた様子で友達に「あれ、女の子かもしれない」と言いました。

人生でこんな経験は初めてでした。本当にワクワクしました。新しいことをするからこそ、新しい発見があるのです。

昆明ではかつらを買えるお店を見つけましたが、値段が高く、1000 元ほどかかりました。広州に戻った後、女性向けの服をもっと買い、かつらも購入しました。女性らしい姿の動画を SNS に投稿したところ、クラスメートから「女装した姿が本当にお姉さんに似ている」とコメントされました。

旅の途中、何度かレッカーサービスの助けを借りました。その理由は、チベットには充電ステーションが少なく、その間の距離がしばしば 100km もあったからです。そして、充電ステーションにある充電器の数も少ないことが多かったです。だから、それらが使えない場合、次の充電ステーションまで運転しなければなりませんでした。また、山が多いです。私の電気自動車は山を登るとき、約 250km しか走行できませんでした。旅の中でいくつかの課題に直面しました。その一つは、迪慶チベット族自治州で、レッカーサービスが私の車を充電ステーションまで運んでくれたものの、車はまだ充電できなかったことです。その時、車の電気は 0% でした。カスタマーサポートに問い合わせ、地元の人々に助けを求め、ポータブル充電ガンを借りたり、家庭用

充電ステーションで充電を試みたりしました。最終的な解決策は、車のボンネットを開けた後、バッテリーを外して車を完全に再起動することでした。車は充電の電気を「感じる」ことができます。ここでは、より面白くするために「反応する」の代わりに「感じる」という言葉を使いました。

そして、帰りの道中で、私は無意識のうちに車を溝に乗り上げてしまいました。その理由は4つあります。1つ目は、道路と溝の色が同じだったこと。2つ目は、溝と道路の間に防護柵がなかったこと。3つ目は、道路の100m先に右折ポイントがあり、車を溝に入れるために少し右に寄せた際、無意識のうちに車が通常のルートから外れていることに気づかなかっただけのこと。4つ目は、2台目の携帯電話を探すために右側を見た瞬間、目が道路から離れていたことです。私はクレンサービスに助けを求め、車を持ち上げてもらいました。広州に戻ってから車を修理しました。

この8000kmの旅は、喜びと悲しみが同時に訪れるものでした。旅の途中で6回の事故に遭いました。そのうち4回は山間部でバッテリーが切れたことによるもので、1回は高速で走行中に穴にぶつかってタイヤがパンクし、最後の1回は意図的に車を溝に乗り上げてしまったのです。嬉しかったのは、旅の途中で出会った景色や人々でした。

旅の途中で、シンガポールの多国籍銀行のフルスタックエンジニア職（香港拠点）の面接に参加しました。これは私が中国以外で受けた初めての面接でした。

チベットから戻った後、私は機械学習について学び続けました。Andrej Karpathy が作成した nanoGPT のビデオを何度も見直し、自分でコードを打ち込んでみました。それでも理解できず、約30本の論文を印刷して学びました。「Programming PyTorch for Deep Learning」という本を読み、PyTorch からさらに多くのサンプルプロジェクトやチュートリアルを見つけて学びました。そして、これらのことことが少しずつ明らかになってきました。

私は機械学習のポジションに応募し始めました。そしてついに、広州のスタートアップ企業での Speech Machine Learning Engineer のポジションの面接を受けることができました。そのような面接に参加するのは興味深い経験でした。私は他の人々と知識を共有しましたが、後から連絡が来ることはませんでした。私たちは OpenAI の Whisper について話しました。私はちょうどそれを学び始めたところでしたが、まだ進展はありませんでした。

機械学習への転向に対する自信を与えてくれました。その後、Coursera プラットフォームでいくつかのコースを受講し、証明書を取得しました。私は「Machine Learning Specialization」と「Deep Learning Specialization」の2つを受講しました。既に知識があると思っていたので、多くのビデオは見ませんでした。MNIST データセットを認識するためのニューラルネットワークのコードを書く宿題が簡単だと感じました。なぜなら、以前にこの内容をしっかりと学んでいたからです。

後半になると、私は焦りを感じ始めました。機械学習の仕事を見つけるために、これらの認定資格を急いで取得しようとしていました。これは良くない行動でした。知識を深く理解している

人は、そうでない人を見抜くことができます。そして、私と有能な機械学習エンジニアとの間にある知識のギャップに気づきました。私にはまだ1年ほどかかるかもしれません。そして、悲しいことに、市場にはジュニアの機械学習エンジニアのポジションが多くありませんでした。私は2つの認定資格を取得した後、それ以上は取得するのをやめました。

そこで、リカレントニューラルネットワーク、推薦システム、強化学習について少しづつ理解し始めました。しかし、自分でコードを考えずに理解しただけでは、まだ浅い理解に過ぎないでしょう。この「カンニング」問題を解決するためには、今後しっかりとその内容を学ぶ必要があります。

Kaggleのコンペティションに参加し始めました。2023年1月現在、4つのコンペティションに参加しました。PyTorchのコードを書いて問題を解決するのはとても楽しかったです。これらの学習プロセスはすべて、neural-networks-and-zhiwei-learningという名前のGitHubプロジェクトに記録しています。今日現在、533のコミットがあります。

1.25百万元の負債（住宅ローン）を抱えているため、機械学習分野への転身に自信を失い始めています。無職であることが苦痛になっています。

父がこの困難な時期を乗り切るために45,000元をくれた。妻は私の月々の住宅ローン支払いの半分を負担し始めた。私はフルスタックエンジニアやデータエンジニアの仕事に応募し始めた。ある英国の多国籍銀行のデータエンジニア契約職のテストを受けた。このポジションのテストを受けるのは初めてだった。問題が簡単なのはわかっていたが、良い答えを出すことができなかつた。

この銀行のフルスタックエンジニア職の面接にも参加しました。JVMの基本的な知識に答えられなかったことが後で悔やまれました。いつになったらこれらのことを行っておきましょうか？

この時期に興味深かったのは、機械学習の仕事の面接に招待してくれた会社がたった1社しかなく、それ以上の面接の機会が得られなかつたことです。フルスタックエンジニアのポジションを探し始めたとき、ラテンアメリカの人々向けのソーシャルネットワークアプリを開発している広州のスタートアップから現地面接に招待されました。彼らは私にフルスタックエンジニアリングに加えて、ブロックチェーンと人工知能の分野でも助けを求めていました。これは面白い偶然で、機械学習について学ぶ機会を私に与えてくれました。時には、就職活動には柔軟性が必要なのです。

学んだ教訓の一つは、私の分野において、長期的な視点を持つためには、面接の質問にもっとしっかりと準備すべきだということです。関連する資料を繰り返し読み、いくつかの実験を行うべきです。

昨年、家を購入した決断について疑問を抱いていました。2019年の時点で、中国政府が中国を巨大な建設現場に変えることで経済を発展させる戦略は続けられないと知っていました。2020

年から 2030 年の 10 年間、中国は崩壊することなく衰退するだろうと。それについて書かれた有名な本がありました。私は長い間その著者を Twitter でフォローし、彼女の言葉を信頼していました。そして、それもまた依存しますが、不動産経済は崩壊するが、技術経済は確実に成長するだろうと。

私は、グローバル企業で働けるほど英語を習得すれば、この悪い経済状況から逃れられると思っていました。それは間違いだったようです。広州にある私の家の市場価値は、約 200 万元から約 170 万元に下落しました。これは状況をさらに悪化させました。しかし、私だけでなく、多くの人々が苦しんでいます。リクルーターたちは、最近中国と世界の経済が悪化していると話していました。多くのレイオフがあったとのことです。

家族は私の家を売ることに同意しませんでした。状況を少しでも良くするために、私は車を売り始めました。私の車には約 45,000 元の値がつけられました。1 年間使用した後で、それは元の価格の半分に過ぎませんでした。家族はそれも許してくれませんでした。

これは私の人生におけるもう一つの大きな失敗です。誰が私にお金をくれて、誰が私のお金を盗んだのか、何がなくて何が悪いのか、誰が私の人生を楽にしてくれて、誰が私の人生を困難にしたのかについて、より深く理解しました。

人々が痛みを経験した時、彼らは反省し、知恵を得ました。私は学士号をもっと真剣に受け止めるつもりです。12 回の試験を受けましたが、4 回しか合格しませんでした。機械学習のことで忙しかったので、十分に準備できませんでした。しかし実際には、就職市場で私を人気にするためには、それの方がはるかに重要でした。

私の状況はまだ絶望的ではありません。いくつかの大手銀行の契約社員職の最近の面接結果を待っているところです。中国での英語を使う仕事において、まだ少しは能力があると自負しています。また、多くのグローバル企業がコスト削減を進めているため、中国での英語を使う仕事が増えていることに気づきました。

自分への反省を書き留めておきます。若い人たちが見てくれるとさらに良いでしょう。

もっと正直になること。人々の目は鋭い。ごまかさないで。自分の能力を知るために、より権威ある試験を受ける。物事についてより客観的な視点を持つために、世界をたくさん探検する。意見の違いを尊重し、一つの意見に固執しない。シリコンバレーでは大学の学位は重要ではないが、中国ではそうではない。

まずは現実的になり、自分の周りの環境で生き延びることを試みるべきです。もしあなたの成績が期待通りでないなら、それは試験の問題ではなく、あなたの問題です。面接に合格しないなら、それは面接官の問題ではなく、あなたの問題です。技術こそが未来であり、家ではありません。家や土地はどこにでもあります。

周囲の正直なフィードバックを大切にし、特に信頼できる人や自分よりも成功している人からの意見を重視しましょう。彼らはあなたの能力を知ることができます。試験の結果や面接の結果を個人的に受け取りすぎるのではなく、それは単に自分の能力がまだ十分でないという意味だと考えるべきです。それは自分がダメだという意味ではありません。自分の能力はまだ低いかもしれないが、改善することができるのです。

成功した時にあまり喜びすぎる必要はない。もっとお金を貯めること。世界で起こっていることにもっと共感を持つこと。人を助けるが、忍耐を持って。たとえあなたの解決策がより良いと思えても、何も強制しないこと。

一年前、私は技術知識の基礎はかなり良いが、深さが少し足りないという面接フィードバックを受け取りました。当時はあまり深刻に受け止めませんでしたが、今では彼らが正しかったとわかっています。

13歳でプログラミングを始めたものの、現在29歳になるまでの16年間、私の興味はアルゴリズム、iOS、Android、バックエンド、フロントエンド、機械学習、英語など、さまざまな分野に散らばっていました。不況の時代に比較的簡単に仕事を得られるような、しっかりとしたスキルを持っていなかったのです。

最近、落ち込んでいて不安な時、妻が娘が英語のアニメソングを歌っている動画を送ってくれました。娘はもうすぐ3歳になります。彼女は「Sister figure, Sister figure」や「Sister shark and sister shark」のように歌うことができます。彼女の人生は父親のそれと比べてずっと楽になるだろうとわかっています。

彼女の英語は、父親が27歳頃に達したレベルではなく、18歳頃には流暢になるようです。学校で試験の成績が悪い時、私はこれについてもっと忍耐を持つべきだとわかっています。子供にあまり強制しすぎると、反抗的な子供しか育たないからです。

私が12歳、小学6年生のとき、父と国語の先生に、学校での国語の授業態度が良くないと批判され、とても落ち込みました。数学の競技会に集中していたせいで、私は不満を感じていました。最近の国語の試験は少し悪かったけれど、一生懸命勉強していました。このようなパターンは、私の人生で何度も繰り返されました。その時、私は交差点の脇にある隠れた草原に身を隠して泣いていました。父は私を何時間も探して心配していました。

そして16歳の時、私は数年間プログラミングを独学しました。インターネットで興味深い英語の記事を見つけて印刷し、クラスメートが英語の授業を受けている間に隣の教室で独学で英語を勉強しました。当時は先生を困らせてしましましたが、今の私の英語力を見て許してくれるこことを願っています。

そして、私は大学入試の前に数ヶ月前から独学で学ぶことを決めました。彼らが私を止めたことに私は不満を感じていました。高校入学時には350人中約50位だった私は、トップ5に入る

ことはできませんでした。私は広東省での全国情報オリンピックの第2ラウンドに進出し、広東省内でトップ300程度の成績を収めました。競技での成績が期待した学校に入るのに十分でなかっただけでなく、大学入試の成績も期待したほど良くなかったことに、私は不満を感じていました。

そして2014年、私はついにこの学校制度と決別し、学士号を取得せずに、私が期待するものを与えてくれなかった場所を離れ、スタートアップで働くことを選びました。当時、両親がどれだけ私を止めようとしたとしても。

私は何人かの高校生と話をしました。彼らも同じような心境でした。この心理的なギャップを感じることは、非常に普通のことでした。

その後、私の人生は、期待される結果を得るために自分を証明するという罠に陥りました。私の脳の回路は完全にそれに支配されていました。私は失敗を恐れるようになり、客観的な世界、つまり客観的な知識よりも、自分の成功をますます気にするようになりました。どんなに頑張っても生き残れないように思えたので、自己中心的になりました。私は、起きている時間の一分一秒を学習教材を聞くロボットのようになりました。そして、望む成功を得られると、私はとても幸せになりました。そして、望む成功を得られないと、私はとても落ち込みました。

その後、2020年から、真実を追求するために3つのPhD教育を受けたYin Wangのブログを注意深く読み始めました。すると、この世界には本当に多くのことを学びたいと思っている人々が存在することがわかりました。それは、成績やお金に関係なくです。彼は自分の学びや世界に対する疑問を共有していました。1969年に人類が月に行っていないというような彼の一般的でない考えを広めて、時々自分の人生を面倒にすべきではないかもしれません、今後数年間は彼のソフトウェアエンジニアリングの知恵を引き続き得るべきです。そしてもちろん、他の多くの人々や同僚からも多くを学んでいます。

私の過去の過ちの一つは、何が最良であるか、会社や人々を見つけたら、その最良の基準で他の会社や人々を測り始めてしまったことです。相手と衝突が生じた時、私は自分の考えを主張してしまいました。

そうすると、おそらく人々を落胆させたり、怒らせたりするでしょう。私はもっと違いを尊重し、すべての物事の良い面を見るべきです。

私は、何が私の脳に痛みをもたらしたのか、何が私の人生を困難にしたのか、この世界で何が起こり、この人生で見るすべてのことに深く思いを巡らせようとしています。

2023年の終わりに、未来がより良くなるかどうかを疑問に思っていた頃、私は眼鏡店に行って視力をチェックしました。実際の度数より150度低い眼鏡をかけて半年経った後、両目の度数が25度減少していました。この実験を1年半続けていましたが、最新の半年間の度数減少は、前年の同じ期間と比べて少なくなっていました。私の意見では、Yin Wangが発見した方法は、細部は人によって多少異なるものの、ほぼ正しいと思います。しかし、日常生活においては、実際

の度数より 150 度または 125 度低い眼鏡をかけてスマートフォンを使ったり、コンピューターで作業したりするのが最も快適であることは間違ひありません。

そして、私の日本語レベルは向上し、より多くの日本語の記号を認識できるようになり、今ではいくつかの日本語の歌を歌えるようになりました。私の脳は、何の苦痛もなくこの変化を遂げました。物事は予想よりもゆっくりと進んでいます。しかし、正しいことをしていれば、結果は必ず現れます。

自分を世界市民として扱うようになると、特定の国籍との結びつきが薄れます。インターネットの壁は中国のインターネット企業の成長を助ける素晴らしいものだと言う人もいます。そして今日、私はこの問題に 300 回目くらいで挫折しました。それは私が定期的にエッセイを GitHub にプッシュするのを妨げます。1 時間ほど格闘した後、SSH プログラムにいくつかの設定を追加する必要があることがわかりました。そうすると、それは魔法のように機能します。

私は「なぜ天才の Zhiwei はアメリカに行かなければならぬのか」というエッセイを削除しました。そこには多くの良い点がありましたが、今は中国に住んでいるので、今いる場所に不満を抱くのではなく、もっと良い面を評価すべきです。

数日間、女性として過ごしてみると、妻や身の回りの女性たちをより理解できるようになります。なぜなら、その瞬間に同じ感情を味わうからです。

もし私たちが不幸せだと感じるなら、それはいくつかのことを受け入れられなかったからです。現実と期待が互いに戦っているのです。私の家の価格が下がる一方で、テクノロジーの価値は上昇しています。実際、今の中では、私の状態はある意味ラッキーだと言えます。世界全体と比べると、私の財政状況、家族、市場状況はまだ良い方です。

ここ数年、求職活動をしている中で、私の能力を評価せずに学士号がないことを理由に私を拒否した企業に対して、ある種の不満を感じていました。今、私は彼らにこう言いたいです。「ありがとうございます、大丈夫ですよ。」なぜなら、それはただの学習の問題であり、時間の問題だったからです。そして、私はそれを得意としていました。YouTube Shorts で微積分を学ぶのは本当に楽しかったです。

私はショートビデオが大好きです。インドのショートビデオアプリ、Moj と Josh をダウンロードして、数日間遊んでみました。今は主に日本語に集中していますが、将来また取り組んでみたいと思っています。

この期間中、私は Codeforces でいくつかのアルゴリズム問題を解きました。今では、なぜ中学生の時に中国全体でトップ 100 に入れず、広東省でトップ 300 に留まっていたのか、よりよく理解しています。一つの理由は、自分にはできるという自信がなかったことです。二つ目の理由は、難しい問題をあまり練習しなかったことです。今では考え方väわりました。練習を重ねれば、難しい問題も簡単に解けるようになるという考えです。どんな難しい問題も恐れていません。

少なくとも最初は自分で解決しようと試みます。Yin Wang が言うように、この世界でほとんど人が知らないことをするために、今のところ年に 100 度近視を減らすことを目指しています。なぜ、この世界で多くの人ができる難しい問題を解決できないのでしょうか？その一つはバイナリインデックスツリーに関するものです。他の説明なしに、その 100 行のコードを 2 日間読んで、その意味を考え出しました。まだいくつかの詳細は理解できていませんが、ただ考えてコードを頭の中で何度も実行することで、多くのことを理解できるほど自分の脳が強力であることを知っています。そして、その意図を理解します。

世界に感謝します。私の幸福は他の人々に依存しています。もし最近調子が良くない方がいらっしゃれば、今年の私の奮闘ストーリーが少しでもあなたの気分を良くする手助けになればと願っています。

この困難な状況で人々の助けを必要とするのではなく、私はもっと人々を助けるべきであり、またその能力を持っています。中国には流暢な英語を話すエンジニアがもっと必要です。中国にはもっと多くのエンジニアが必要です。自分は何でも学べると信じる人々がもっと必要です。そして、私はこれらの人々を助けることができます。さらに、グローバルな仲間たちも助けることができます。

そして今年、高校や大学の若い学生たちと出会いました。彼らは私の記事を読み、私の WeChat を追加してくれました。私が本当に人々の役に立っていることを知り、とても嬉しかったです。また、親戚が私に彼らの息子を紹介し始めました。私は何となく周囲のモデルになっていることが嬉しかったです。

ちょうど今朝、あるグローバル銀行から最終面接の招待を受けました。今回はうまくいくことを願っています。ここ半年ほどの間に、リクルーターに 5 回ほどアプローチしました。毎回、1 週間ほどかけてアプローチしました。最初の数回は機械学習の仕事についてで、最近はフルスタックエンジニアのポジションについてです。次の仕事では、もっと落ち着いて、週末にはもっと休めるようになり、何度も燃え尽きることがないようにしたいです。そして、より良い協力ができ、不完全さに対してより寛容になれることを願っています。

私の問題の一つは、同じことを何度も繰り返し言ってしまうことです。これは、自分の快適ゾーンに留まるのではなく、新しいことを書き出すべきだということを意味しています。しかし、私の考えでは、今回は実際に違うやり方をしています。Grammarly に文法エラーを自動的に修正させるのではなく、手動で修正しています。

とにかく、2024 年に幸運を祈ります、中国語、英語、日本語を話す友人の皆さん。この世界の残りの 40 億人の母国語を少しも知らないので、彼らを友人とは言えません。

そして、今年私の人生に現ってくれたすべての人々に感謝します。物理的な世界であれデジタルの世界であれ、皆さんとの交流がなければ、私はとても孤独を感じることでしょう。

私のグローバルな読者の皆さん、新年あけましておめでとうございます！中国の読者の皆さん、

春節おめでとうございます！あけましておめでとうございます！

私は Ubuntu の日本語入力メソッドを使って、この日本語の単語をディープラーニングコンピュータで入力しました！日本語の単語を入力するのは今では簡単そうですね！

私は、娘が将来中国語と英語の単語をタイピングする姿を想像しています。彼女はどれほど幸せでしょう！友人の皆さん、この新年、皆さんもそのような幸せな瞬間を何度も迎えられることを願っています。